

【富田林市立地適正化計画（素案）に対するパブリックコメント実施結果について】

「富田林市立地適正化計画（素案）」に対する意見を募集しました。その結果について、以下のとおりお知らせします。

1. 実施期間 令和4年12月1日（木）～令和4年12月28日（水）

2. 実施結果

提出方法	人数	件数
郵送		
FAX		
メール	1	4
持参		
合計	1	4

3. 意見の概要と市の見解

件数	該当ヵ所	意見概要	市の見解
1	概要版 P6 都市機能誘導区域と誘導施設	本市の立地特性を活かして、子育て世代に優しい都市とすることにより、子育て世代の移住促進を図り急激な人口減少に歯止めをかけることを目指します。 そのために、金剛西地域都市機能誘導区域及び富田林駅都市機能誘導区域に誘導施設として「●保育拠点施設」を置き、働く若い世代を応援してはと思います。	ご指摘のとおり、鉄道駅近くに保育拠点施設を整備することは、子育て世代にとって、非常に効果のあるものであると考えます。 この点について、本市では、保育拠点は、既に居住している住民の方の利便性を勘案し、都市機能誘導区域のみならず、市域全域に立地が必要との認識です。 したがって、立地適正化計画で、都市機能誘導区域内の誘導施設として位置づけた場合、他の地域で当該誘導施設を建築等する場合、届出が必要となります。このため、誘導施設としては位置づけをしていない状況です。

件数	該当カ所	意見概要	市の見解
2	概要版 P7 居住誘導のための施策	居住誘導区域の一つ金剛地区は、全戸数 8,732 戸中、UR 集合住宅 5,030 戸（58%）を占め、古く時代のニーズに合わないファミリータイプの 5 階建て中層住宅であることが、若い世代の住宅需要に応えることができない要因の一つになっていると思います。 本市へ若い世代が移住したいと思う都市とするために、「●若い世代が居住したくなる住宅及び住宅環境整備」を施策として掲げ、公的住宅施策に責任を有する UR 団地整備をその目的に向け誘導する必要があると考えます。	ご指摘のとおり、居住誘導区域である金剛地区については、UR 集合住宅が多くの割合を占めています。そのような中で、本市金剛地区再生指針の中でも、若年世帯向けの改修住戸の供給等の検討が、取組みの方向として示されています。 したがって、本編の 83 ページに、「高齢者、障がい者」のみならず、「若者世帯」を加えることとします。
3	概要版 P8 地域振興のための施策	本市寺内町は、全国に 126 か所ある重要伝統的建造物群保存地区の内、大阪府下で唯一の地区です。周辺の歴史資産を含め、古代から中世にかけて南河内の中心として栄えた歴史文化資産を他市との観光に係る広域連携により「●観光の振興」として活用することで地域振興に資することができると思料します。 特に巨額を投じる新庁舎建替は、寺内町を含めた面的整備計画の下に進めて、本市の貴重な歴史的な文化資産を活かした観光振興にも資するよう配慮する必要があると考えます。	ご指摘のとおり、本市寺内町は、大阪府下で唯一伝統的建造物群保存地区に指定されたたいへん貴重な資源であると認識しています。 この点、「観光の振興」につきましては、本編の 65 ページに富田林駅周辺の方針として、「歴史遺産等を活かし、賑わいを創出します。」としています。具体的な観光施策につきましては、「富田林市観光ビジョン」に基づき実施致します。

件数	該当カ所	意見概要	市の見解
4	概要版 P8 交通ネットワークのための施策	本市域内の鉄道、幹線道路は南北に走っていることや、都市形成の過程から東西の結びつき・連携が極めて弱いと感じています。 金剛・金剛東地区と富田林・喜志地区を公共交通(バス)で直接結ぶこと、更に、都市のコンパクト化を進めると同時に生活の質を高めるスポーツ・レクリエーション施設として東部丘陵地帯の総合スポーツ公園や農業パークを全市民が使いやすくするために公共交通などで結び整備する「●東西地域を結ぶ公共交通の整備」も必要ではないかと考えます。	ご指摘のとおり、本市の鉄道網は、南海と近鉄が南北に走っていることから、東西地域を結ぶ交通網の整備も課題であると考えております。 したがって、本編の 89 ページ及び概要版 8 ページに、「○幹線バス軸の形成・近鉄富田林駅と南海金剛駅の東西の都市拠点間を円滑に移動できる環境の実現に向け、路線バスの乗り継ぎ割引制度の導入に取り組めます。」を加えることとします。